

## 令和8年度 TD 講習会資料（大阪高体連ハンドボール専門部）

TD（テクニカルデレゲート）は原則2名の配置としますが、ブロック大会のリーグ戦など人員が確保できない場合は1名でも可とします。

### TDの任務

- ・レフェリー、他の競技役員、補助生徒と協力しての円滑なゲーム管理
- ・判定上の問題が生じたときの適切な助言・勧告
- ・時間管理（タイムキーパー）
- ・交代地域規定の管理  
（センターラインから4.5m・ベンチは3.5m）
- ・公式記録用紙の管理・照合（スコアラー）

### 具体的な業務内容

#### （試合前）

- ・各用具及び記録席用具の確認  
（ストップウォッチ、イエロー・レッドカード、笛、**T**（グリーンカード）1～3×2セット  
チーム役員ホルダー（A～D）、メンバー表の受理、（予備の退場者カード）など
- ・チーム役員ホルダー、**T**（グリーンカード）1・2をチーム責任者（A）に渡す
- ・プレーヤー、チーム役員のユニフォームの確認
- ・登録証によるチーム役員とプレーヤーの照合
- ・交代地域規定に違反していないかを管理
- ・レフェリー、補助生徒と綿密な打ち合わせ  
（計測の開始・停止の合図、得点の合図、罰則の合図、コーチングゾーンの確認など）

#### （後半開始前）

- 前半 **T** 請求なし → 1を回収し、2・3を渡す  
**T** 1回 → 2・3を渡す  
**T** 2回 → 3のみ渡す

#### （試合中）

- ・タイムキーパーが適切に時計を操作していることを管理  
（時計を進める時、止める時手を高く上げて確認の合図をする）
- ・試合途中のレフェリーの合図を、記録生徒が対応できるよう管理  
**得点** → プレーヤーの番号を確認し、手を高く上げる。  
**警告** → プレーヤーの番号を確認し、イエローカードを高く上げる。  
**退場** → 再開の合図の際、退場を意味する2本指を用いて合図をする。  
（補助生徒の業務であり、TDはこの行為はするべきでない。）
- ・ゴールキーパーが不在のコートプレーヤー7人の出場が認められる。  
（可能な限りレフェリーへ通知する。「今、CPとGKが交代した。」・「7人攻撃です。」など）
- ・交代地域に違反がないかを管理  
（不正交代、不正入場、その他交代地域の違反を管理する）
- ・チームタイムアウト  
（カードは直接受け取ってもよい）

（競技中も競技の中断中も）チームがボールを所持しているときにだけ、チームタイムアウトを請求することができる。タイムキーパーが笛を吹くまでの間にボールの所持を失わなければ、そのチームは直ちにチームタイムアウトを与えられる（笛を吹く前に所持を失った場合は、そのグリーンカードをチームに戻す）。

原則はベンチに置き、チームタイムアウトを請求するときのみ持つことができる。

請求されたら直ちに笛を吹き（ブザーを鳴らし）、同時に時計を止める。

レフェリーの合図から1分間（50秒）の計測を開始する。

- ・残り30秒をレフェリーと確認する。公示時計のない会場では残り30秒を立ち上がることにより周囲（レフェリー・両チームなど）に知らせる。

試合終了間際30秒の違反については、失格、報告書付きの失格及びスポーツマンシップに反する行為が起きた場合は全て7mスローとなる。

- ・競技終了の合図は、ブザーまたは笛で行う。

#### （後半終了5分前）

- ・**T** 2枚以上ある場合は、番号の大きいカードを回収し、1枚だけ残す。